

群馬の畜産 みんなの情報室



発行：公益社団法人 群馬県畜産協会

〒379-2147 前橋市亀里町 1 3 1 0 群馬県農協ビル 3 階 / TEL : 027-220-2371 (代) FAX : 027-220-2372

ホームページ : <http://www.chikusankyokai.or.jp>

第 76 回定時総会の開催

令和元年 6 月 21 日に群馬県農協ビルにおいて、第 76 回定時総会を開催しました。

当日は会員各位にご出席いただき、大澤会長より下記のとおり挨拶がありました。



平成 30 年度、当協会は経営に有用な技術・情報を提供するとともに、経営の安定・向上を支援するため、多岐にわたり 89 の事業を実施いたしました。TPP イレブン及び、日欧 EPA が相次いで発効したほか、アメリカとの TAG 交渉の開始など、急速な貿易自由化の進展により、我が国畜産の先行き不透明な状況は深刻さを増し、国内においては、肥育牛も枝肉価格は前年並みを保っているものの、高価格で導入した素牛の出荷を迎え、牛マルキンにおいて交付金が交付されるなど、畜産経営全体が不安定な時期に入っております。また、国内でも家畜

の伝染病が昨年 9 月、岐阜県で 26 年ぶりに豚コレラが発生し、これまで岐阜県、愛知県を中心に 6 月 20 日現在 26 例の発生が報告されておりますが、未だに終息していません。当協会では、豚コレラの発生を想定した防疫演習を県との共催で開催するなど、感染防止対策の強化に取り組んでいます。そのほか、今年度も畜産クラスター事業や牛マルキン事業、及び家畜衛生対策の推進など、「畜産経営の安定や、安全で良質な畜産物の生産に貢献する」ことを目的に、群馬県畜産協会は、会員の皆様をはじめ、行政や関係団体との十分な連携のもと、当協会の持つ機能を最大限に活かして各種事業に取り組んで参る所存です。（総会挨拶から一部抜粋）

1page 第 76 回定時総会の開催

会長 挨拶

2page 平成 30 年度実施事業の実績

3page 第 34 回理事会の開催

死亡牛処理整理票を作成しました

4page 2019 セントラルジャパンホルスタインショウが開催されました

女性経営者の勉強会を開催しました

5page イベント情報

牧場体験・たまごフェスタ 2019

6page 第 23 回群馬県畜産共進会（山羊の部）

新・農業人フェア 働く！農業 EXP02019

マイナビ就農フェスト

7page 価格安定事業の状況

8page 競馬情報

平成 3 0 年度実施事業の実績

概要

平成 3 0 年度においては、公益目的事業 7 4 事業、収益等事業 1 5 事業の合計 8 9 事業を実施しました。

公益目的事業のうち畜産経営の安定を図る事業においては、高価格で推移している、もと牛導入の影響が大きい肥育牛経営に対して、昨年度に引き続き肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）による補てんが交付されました。また、肉用肥育牛、肉豚において、TPP 発行に伴い新たに法制化された肥育経営安定交付金制度に取り組みました。

畜産経営の向上を図る事業においては、経営実績に基づく改善情報の提供、各種調査や畜産特別資金の指導事業を継続的に行ったほか、引き続き T P P 総合関連対策としての畜産クラスター事業について、本会が機械導入事業の県窓口として、クラスター計画に基づく導入申請等を行い、昨年度に引き続き、畜産クラスターに関連しての調査を実施いたしました。さらに酪農経営体に対しては高度化機械設備の導入により労働時間の軽減を図る事業を実施しました。

家畜および畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業では、B S E 対策としての牛疾病検査円滑化、養豚生産農場において疾病の発生低減等を図るための農場指導や検査等の事業を引き続いて実施するとともに、従来から実施していた H A C C P に加え、畜産 G A P を推進する事業を新たに行いました。また、畜産、地方競馬振興への消費者の理解を促進するために、牧場体験や畜産普及啓発等、イベントにおける広報活動を実施しました。

さらに、家畜の能力向上を促進する事業では、優良種畜の導入や飼養頭数増加に取り組む生産者への支援、各畜種の共進会開催を行いました。また、昨年 1 1 月に本県で開催された第 1 9 回関東ホルスタイン共進会の出品対策及び支援を実施するとともに、同共進会の開催運営を行いました。また、第 1 2 回全国和牛能力共進会への出品対策及び支援を実施しました。

収益等事業では、前年に引き続き乳牛、和牛、豚、山羊の各家畜の血統登録を積極的に推進したほか、生産者から受託して養豚の価格差補てん事業への参加に必要な事務を行いました。また、県内生産者団体等からの事務を受託して、地域の畜産振興に努めました。

平成 3 0 年度は前年と同様に畜産物価格は堅調な推移でしたが、T P P の発効などにより国内市場への海外輸入畜産物の増加懸念が現実となっています。また海外からの悪性伝染病の侵入リスクが高まっています。今後、本協会としても既存事業を継続して行うとともに、畜産を取り巻く中長期的な課題や実態を十分に踏まえて、引き続き生産者の意欲を高めるための対策、生産基盤を支援する事業に積極的に取り組んでいく必要があると考えます。



第 1 号議案・・・平成 3 0 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件

第 2 号議案・・・令和元年度役員報酬の件

第 3 号議案・・・令和元年度会費並びに納入時期の件

第 4 号議案・・・理事の辞任の件

付帯決議

第 3 4 回理事会の開催

上記第 7 6 回定時総会 第 4 号議案において決議された事について、総会終了後に、選任された理事及び監事による第 3 4 回理事会が開催され、役付理事の選任が行われました。

【役付理事の選任】

副会長 富田 孝

【退任された理事】

小茂田 匡央 境野 修一 亀山 豊文

【新任された理事】

富田 孝 萩原 宣弘 五十嵐 清隆



死亡牛処理整理票を新たに作成しました

死亡牛処理整理票
牛疾病検査円滑化推進対策事業

(公社)群馬県畜産協会

本整理票は、牛疾病検査円滑化推進対策事業の円滑な実施を図るため作成したものです。
下記事項にご留意の上、適正に使用して下さい。

① 本票は死亡牛を適正に処理（運搬、BSE 検査、最終処分）した場合に、牛疾病検査円滑化推進対策事業により補助金を交付するための根拠となる重要な書類です。

② それぞれの段階で、関係者の確認を受け、最終的に（公社）群馬県畜産協会へ本票（1 枚目）が送付されます。

③ 輸送業者、化製処理業者等へ運搬・処理を依頼した場合、その経費（全額）を支払うとともに本票を記入し輸送者に渡して下さい。

④ 運搬・処理経費の支払、適正な処理が本票で確認された死亡牛に対して、その所有者に定められた補助金を交付します。

⑤ 死亡牛を特定するため、個体識別番号（耳標番号）を必ず記入してください。記入されていない場合は、個体の確認ができませんので、補助金の交付ができなくなります。

⑥ この整理票には必要箇所必ず押印してください。

■ 検査対象見込表

	0才-11歳	12才-17歳	18才-21歳
通常の死亡牛	マニフェスト対応	①BSE検査済以上	
超定年牛		②BSE検査済以上	
特定収容牛		③特定収容	

死亡牛処理票

グレー部分の死亡牛は、新規死亡牛整理票の①、②、③、④で読みBSE検査（補助対象）
白地部分の死亡牛はマニフェストで化製場へ搬入し化製処理

検査対象等についてご不明な点は裏面の地域の畜産保健衛生所にお問い合わせ下さい。

この 4 月より死亡牛の B S E 検査対象月齢が変更になったため、死亡牛処理整理票も新たに作成しました。

以前より B S E 検査対象以外の牛に使用する「マニフェスト」と「整理票」の区別が困難であるとのこと指摘を受けて、表紙の色をかえ、B S E 検査対象で使用するものであることを明記しました。また、表紙の裏には西暦と和暦の対照表を作りました。

死亡牛処理整理票は死亡牛を適正に処理した場合に、牛疾病検査円滑化推進対策事業により補助金を交付するための根拠となる重要な書類となりますので、適正に使用・管理し、事業の円滑な実施にご協力をお願いします。

なお、死亡牛処理整理票は家畜保健衛生所、農協、畜産協会に置いてありますので、最新のものを使っていただき、必要場合は最寄りの機関にお問い合わせください。無料で配布しています。

2019 セントラルジャパンホルスタインショウが開催されました

平成31年4月26日（金）～27日（土）に、静岡県の御殿場市・馬術スポーツセンターにてセントラルジャパンホルスタインショウが開催されました。

本県からは計22頭を出品し、ジュニアクラスから3頭、インターミディエイトクラスから2頭、シニアクラスから3頭の計8頭がチャンピオンに選ばれました。さらに、ジュニアクラス、シニアクラスにおいてクラス順位1位、2位を獲得し、シニアクラスからグランドチャン



グランドチャンピオンに輝いた レモンデール レジナルド スウィート 出品者（株）長壁牧場

ピオンという素晴らしい成績を収めることが出来ました。これは出品者の日頃の研鑽の賜物であるとともに、本県の出品に携わった関係者全員の努力の結果であると思います。

今回の成績は大変素晴らしいものでしたが、本会としても満足することなく県内のホルスタイン牛の能力向上、後継者育成に貢献していきたいと考えております。

女性経営者の皆さんの勉強会を開催しました



案内・説明をして下さった鳥山社長（下段右下）

平成31年4月22日（月）に畜産女性経営者の育成支援を目的として（有）鳥山牧場へ視察研修に伺いました。

鳥山牧場は肥育と繁殖、肉の流通まで行い消費者の口に入る所まで見ているので、味や旨味を重要視していて、市場で購買する牛も血統や資質にこだわっているそうです。

また、「農場HACCP」「JGAP」の両方の認定を受けている全国的にも数少ない農場です。今回参加した女性達からは、キッチンとした管理、情報の把握と共有、改めて基本をしっかりと行う事の大切さなど多くの事を学べた有意義な研修だったとの事でした。

イベント情報

牧場体験交流会

毎年実施している神津牧場宿泊体験交流会を今年も実施します。大自然のなかで動物たちとふれあい、乳しぼり、子牛へのミルクやりなどのお仕事も体験することができます。

◆開催日時：令和元年 7 月 3 0 日（火）～ 3 1 日（水）

◆開催場所：公益財団法人神津牧場

◆概要（予定）

- ・動物とのふれあい
- ・えさやり体験
- ・乳しぼり体験
- ・バター作り
- ・夜の牧場体験等



たまごフェスタ 2 0 1 9



群馬県産鶏卵消費拡大を目的に、今年で 6 回目となるたまごフェスタが開催されます。

■日時：令和元年 8 月 1 8 日（日）1 0 時～1 4 時

コーナーごとに、配布たまご・加工品などがなくなり次第終了となります。

■場所：群馬県庁 1 階県民ホール南北、2 階ビジターセンター

■主催：群馬県養鶏協会、たまごプロジェクト部会

■内容：群馬県産鶏卵（ブランド卵）販売、卵かけご飯早食い競争、たまご重量当て、パネル展示、「たまご」についての講演会、ぐんまちゃんとの記念撮影等

■駐車場：前橋市役所屋外駐車場、群馬県庁駐車場

※駐車場の混雑が予想されますので、乗り合わせ、公共交通機関のご利用にご協力をお願いします。



第 2 3 回群馬県畜産共進会（山羊の部）

- 開催日時：令和元年 8 月 3 0 日（金） 1 0 時～
- 開催場所：群馬県渋川市渋川家畜市場
- 同日午後には交換会（オークション）を行います
- 交換会のみ参加や見学も可能なので是非足をお運びください。



《新・農業人フェア 働く！農業 EXPO 2019》

群馬県内の畜産農家の雇用促進及び労働力確保、並びに新規就業・就農を図るため、東京開催の新・農業人フェアに参加します。

就農支援・相談募集ブースに、群馬県新規就農相談センターとして群馬県農政部農業構造政策課、（公財）群馬県農業公社、（一社）群馬県農業会議と一緒に本会もブースを出展します。

- ◆開催日時： 1 回目 令和元年 7 月 27 日（土）
2 回目 令和 2 年 1 月 25 日（土） 1 0 時～1 6 時 3 0 分（共通）

◆開催場所：池袋サンシャインシティほか

◆主催：リクルートジョブズ

◆後援：農林水産省、厚生労働省

《マイナビ就農フェスト！》

酪農経営支援総合対策事業による、酪農ヘルパーの人材確保のため、出展します。当日は、県新規就農相談センターも出展し、本県は 2 ブースの体制で行います。

◆開催日時：令和元年 7 月 6 日（土）

◆開催場所：JR 新宿ミライナタワー12F

◆主催：マイナビ



価格安定事業の状況

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況

区分				交付単価(円)					交付頭数(頭)					交付額(円)					交付戸数(戸)				
業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑
6	31	1 ~ 3	第4四半期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）補填金交付状況

業対	平成31年度		品種区分	通常		交付金額 (円)	交付戸数 (戸)	交付日
				頭数(頭)	交付単価(円)			
1	1月	概算	肉専用種		0	0		3/27
			交雑種		0	0		
			乳用種	137	50,562.5	6,927,059	11	
		確定	肉専用種			0		5/29
			交雑種			0		
			乳用種	137	3,816.4	522,844	11	
	2月	概算	肉専用種					4/24
			交雑種			0		
			乳用種	159	60,769.4	9,662,331	9	
		確定	肉専用種					5/29
			交雑種			0		
			乳用種	159	4,000.0	636,000	9	
	3月	確定	肉専用種					5/29
			交雑種			0		
			乳用種	168	74,024.1	12,436,045	10	
3	平成30年度 (概算・精算)	肉専用種	3,899		82,834,100	366		
		交雑種	7,871		425,633,300	679		
		乳用種	1,207		37,326,300	79		
		計	12,977		545,793,700	1,124		

業対	平成31年度		品種区分	通常		交付金額 (円)	交付戸数 (戸)	交付日
				頭数(頭)	交付単価(円)			
1	4月	概算	肉専用種			0	0	6/26
			交雑種			0	0	
			乳用種	180	38,722.1	6,969,975	79	
		確定	肉専用種					
			交雑種					
			乳用種					

■肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン）

年次	月次		期別		補填金交付						
					単価(円)	頭数(頭)	総額(円)	戸数(戸)			
30			4 ～ 6	第1四半期	概算	0	0	0	0		
				確定	0	0	0	0			
			7 ～ 9	第2四半期(第1含む)	概算	0	0	0	0		
				確定	0	0	0	0			
			10 ～ 12	第3四半期(第1～2含む)	概算	0	0	0	0		
				確定	0	0	0	0			
			1 ～ 3	第4四半期(第1～3含む)	概算	0	0	0	0		
				確定	0	0	0	0			
			計					0	0	0	0

